

国語科公開研究授業学習指導案

大阪府立今宮高等学校 久次米 真理子

日時 2009年11月18日(水) 6限(14:25～15:15)
 場所 大阪府立今宮高等学校 401教室
 対象 1年1組 40名
 単元 漢文 史話
 教材 「臥薪嘗胆」 十八史略 (『精選国語総合』東京書籍)
 指導目標



- 1 漢文の文章構造を理解し、正確な書き下し文が書ける力を養う。
- 2 国名・人名・地名を正確に把握し、史話のおもしろさにふれさせる。
- 3 故事成語を知り、漢字についても興味を持つよう指導する。

本時の目標と授業の展開は以下の通りである。

本時の指導目標

- 1 正確に書き下し文にする力を養わせる。
(ひらがなにする字、書き下し文に入れない字の説明)
- 2 国名・人名・地名を正確に把握し、登場人物について理解させる。
- 3 漢和辞典の引き方を紹介し、漢字に興味を持たせる。
- 4 故事成語に興味を持たせる。



勾践(生徒作)

学習活動	指導上の留意点
1 心理テストと本時の予定の説明(5分)	1 故事成語の内容を知る。
2 書き下し文のポイント説明(5分)	2 書き下し文用のプリントで、ひらがなにする字・書き下し文に入れない字を確認する。
3 各自、書き下し文を書く(15分)	3 机間巡視。自主的に板書させる。
4 国名・人名・地名をチェックする(5分)	4 人物図プリントで人物関係を確認、国名なども教科書の地図で確認させる。
5 一斉音読(5分)	5 書き下し文、読みを確認させる。
6 漢字の意味や句法について説明する(15分)	6 漢和辞典の引き方、熟語の成り立ち、句法を紹介する。
7 次時の予告・宿題の指示	7 訳を宿題とする。

評価について

学習プリントを、プリント完成後提出させ、こまめに添削し、目標への達成を評価する。

【御高評価欄】

漢文
「臥薪嘗胆」人物図

越 越

互いに 敵国視。攻めたり 攻められ
たり。境を くりかえした。

吳 吳

〈今習バージョン〉
Ist by 1-2 号生一氏。

王

句
残

王

夫
差

王

閻
麋



種
公

↓
家来たち

伯
駘
本
家
主



(武行) 臣

范
蠡

臣

子
骨
臣



「吾が目を執りて東門に
懸けし。以て敵兵の兵を
滅ぼすべしと観ん。」



